

## 委員会評価（外部評価）の概要

事業名		概要
1	学校の統廃合 (学校教育課)	学校の統廃合についてはいろいろな側面があり、議論すべき問題も多いが、議論の俎上に乗ってきたことは評価できる。行政改革大綱を作成した時点からの課題の一つであり、今一步の改革に欠けるので、今後の議論の展開を進めて行くことが必要である。
2	運動広場維持管理事業 (体育課)	主として高齢者の運動用に利用されているが、管理方法、管理費用の面から事業内容の見直しが必要になってきている。今後は、会員の減少により各クラブの活動も少なくなっている現状から、多方面の利用等に転用出来ないか研究することが必要である。
3	竹島水族館維持管理事業 (商工観光課)	「海のまち」として重要な機能であり、存続をさせていくことが必要である。そのため、関連施設を少なくともネットワーク的に統合していくことが必要と考えられる。また、指定管理者制度に移行したものの、利用料金制の検討することもすべきである。 また、適切な評価指標の設定が必要である。
4	保育園一般管理運営事業 (児童課)	未だに市民の間には「皆保育」が定着しており、現制度における幼稚園、保育園、託児所を混同しないような情報提供をし、民間の託児所で代替できるものは移行することを考えることが必要である。また、そのニーズに対応するきめ細かい人事配慮（正規の保育士・臨時保育士など）が必要となる。
5	蒲郡市社会福祉協議会運営事業 (福祉課)	補助事業の効果を測るための成果指標が曖昧であるため、達成度評価が大きな意味がないものになっている。成果指標として供給側（補助する側）と需要側（当該事業によるサービスを受ける住民側）の費用対効果を検討すべきである。
6	看護専門学校運営事業 (看護専門学校)	学生1人あたり130万円/年の財政歳出となるが、この数値に見合った市の看護師不足への対応がなされているかに問題は残る。学生確保の対応の一つとして、小中高へのPRを図ることがあり、総合学習の時間を積極的に使って、理解を深めてもらうことが必要である。 卒業生の市内就職の比率をさらに上げていく努力が必要である。
7	情報ネットワークセンター管理運営事業 (情報ネットワークセンター)	施設を共有している二つの機能（情報ネットワークセンター・生命の海科学館）だけではなく、情報の受発信のセンターとして他の機能も付加したネットワークで管理運営を考えることが必要である。 また、来館者の便宜を図るための共通入場券などの整備、移動手段を確保するための巡回する公共交通の確保あるいは観光レンタサイクルなどの活用を早急に検討することが重要な課題としてあげられる。観光施設の連携も必要となる。
8	区画整理事業 (区画整理課)	区画整理による道路整備が進まないと、事業費が増える、保留地が売れない、従って、ますます事業の進捗が遅れ事業費がさらに増える、といった悪循環になっている。 また、事業進捗には人材の育成・確保が重要となる。
9	街路樹木管理事業 (道路管理課)	樹木の剪定にはステークホルダーとしての市民の参加が必要となる。更に、協働まちづくり事業として市民ボランティアの積極的な参加を得るシステムづくりを行うことが重要となる。 また、国・県道の街路樹は県の管轄となるが、市民にとっては、管轄が異なっても蒲郡市の道・街路樹として見ているので、これについても協働を図っていくことが必要である。